

セキュア系技術SWG 活動方針

2007年3月14日

日本電気株式会社 江川 尚志
沖電気工業株式会社 加藤 圭
株式会社KDDI研究所 窪田 歩
日本電信電話株式会社 針生 剛男
株式会社日立製作所 鍛 忠司

セキュア系技術SWG 活動方針(1)

- IPTV向け高信頼化技術
 - 検討内容: IPTVやVoD等の実現に必要な伝送技術、特に大規模高品位マルチキャストを高信頼化する技術としての網設計、受付制御や障害制御といった各種の制御、対応するプロトコル及び管理技術を開発する。
 - 活動方針: ITUのNGNをターゲットとして、SG13や11を中心に、RACFやNACFの大規模高品位マルチキャスト技術の高信頼化対応を進める。必要に応じて障害制御プロトコルの標準化をIETFなども利用して行う。
 - 最終目標: 2008年～2009年頃の完成が期待されるリリース2向けNACFとRACFに盛り込まれる大規模高品位マルチキャストに高信頼化対応機能を入れ込む。
 - 2007年度マイルストーン:
 - 4～8月:機能検討
 - 9月: NGN-GSI会合にて寄書提出
 - 活動頻度: 1、2ヶ月に1回程度進捗に応じてF2F会合を開催

セキュア系技術SWG 活動方針(2)

- 災害時復旧技術
 - 検討内容:災害時に網のノードが自律協調し、オーバーレイ技術などを用いて異種網間でも網を最適に再構成できる網制御・管理技術を実現し災害時の可用性を向上させ、またpush型通信を実現することで災害情報を末端まで伝達できる技術を確立する。
 - 活動方針: 網の自律協調制御技術、再構成技術等に関しては、アカデミックな立場から検討し、学会投稿などを行うと共に、それらの制御技術が確立できたならばITUでのNGNへの応用を中心に標準化活動を行う。
プッシュ型通信についてはITUでのNGNへの応用を中心にSG13や11を中心として標準化活動を行う。
 - 最終目標: 2010年、NGN上で網の最適再構成を実現するためのプロトコル標準化
 - 2007年度マイルストーン:
 - 4～12月: 自律協調制御他につきアカデミックな検討
 - 9月:問題意識を整理し学会投稿
 - 活動頻度: 当面はメールベースの活動を基本とし、必要に応じF2F会合を開催

セキュア系技術SWG 活動方針(3)

- NGN活用型セキュリティサービス
 - 検討内容:NGNが次世代のネットワークインフラとして普及していくため、NGN上の端末やNGN上で展開されるサービスがNGNの機能を積極的に活用し、現在、端末やサービスがセキュリティにかけているコストを低減するための技術開発を行う。
 - 活動方針: NGNの機能を活用したセキュリティサービスのフレームワークの確立をターゲットとして、セキュリティサービスのために求められるNGNの機能、およびNGNの機能を用いたセキュリティサービスの実現方法についてITU-T SG17を中心に検討を行う。上記フレームワークの検討・標準化活動と平行して、NGNの機能として不足が判明した機能についても標準化提案していく。
 - 最終目標: 2012年、NGNを活用したセキュリティサービスのフレームワークのITU標準化
 - 2007年度マイルストーン:
 - 4～9月:NGNの機能を活用したセキュリティサービスに対する検討テーマ候補の洗い出し
 - 9月～: ITU-T の次会期での検討テーマとして提案
 - 活動頻度:当面はメールベースの活動を基本とし、F2F会合は他のテーマと合同開催

セキュア系技術SWG 中期スケジュール

検討テーマ	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
IPTV向け高信頼化技術	方式検討 (4~9月) →	方式検討(再) (10月-) →			
	寄書作成 (8月) →	寄書作成 (12月) →	寄書作成 (4月) →	寄書作成 (9月) →	
	 GSI 会合 (4月)	 (9月)	 (1月)	 (5月)	 (10月)
災害時復旧技術	問題定式化検討 →		制御方式検討 →		
				標準化作業 →	
	 問題意識 取り纏め 研究会投稿 (9月)				
NGN活用型セキュリティサービス	テーマ検討 (4~9月) →	要件検討 →		フレームワーク検討 →	
	 次会期 テーマを SG17提案 (4月) (9月)	 次会期 テーマを SG17提案 (4月)			